

はじまりは国芳

—江戸スピリットのゆくえ

The Spirit of KUNIYOSHI
- From Ukiyoe to Japanese Modern Paintings

横浜美術館

2012年11月3日(土・祝)～2013年1月14日(月・祝)

この展覧会は、浮世絵師・歌川国芳^{うたがわくによし} (1797寛政9～1861文久元年) をはじまりとして、国芳の近代感覚にあふれた斬新な造形性が、その一門や系統にどのように受け継がれ、さらに新たな展開を見せていったかを、江戸末期から昭和初期の日本画、油彩画、水彩画、版画、刊本^{かんぽん}などの作品、資料を通して探ろうとするものです。

歌川国芳は、歌川豊国^{とよくに}門下の浮世絵師で、同門の兄弟子・歌川国貞^{くにさだ} (三代豊国) と並び、江戸末期の浮世絵界を牽引しました。雄壮^{ゆうさう}奇抜^{きばつ}な武者絵^{むしゃえ}をはじめとして、美人画、役者絵、機知とユーモアに富む^{ぎが}戯画^{ふし}や諷刺画、洋風の表現を取り入れた風景表現など、その幅広い作画領域と画風によって、近年、評価がますます高まっています。

国芳門下の第1世代からは、歌川芳員^{よしかず}、落合芳幾^{おちあひよしいく}、歌川芳虎^{よしとら}などの浮世絵師のほか、月岡芳年^{つきおかよしとし}、河鍋暁斎^{かわなべきょうさい}、そして洋風表現で一派をなした五姓田芳柳^{ごせ たほうりゅう}などの異才が輩出しました。とりわけ、月岡芳年の門下には、歴史画の水野年方^{みずの としかた}、物語絵・風俗画の錦木清方^{かぶらき きよかた}、さらに清方の弟子の伊東深水^{いとうしんすい}や寺島紫明^{てらしましめい}などが連なり、日本画の一大画系を形成しています。また、清方門下には、版元・渡邊庄三郎^{わたなべしょうざぶろう}率いる新版画運動に参加した川瀬巴水^{かわせ ばすい}、笠松紫浪^{かさまつしろう}らがあり、大正期から昭和にかけて、木版画の新たな可能性を拓きました。

本展では、国芳の系脈に連なる画家たちのこうした幅広い展開を、4章立て約250点(当館コレクションから約70点出品)でたどります。

※会期中に展示替えがあります。



歌川国芳^{いちゆうざい} (一勇斎)
《近江国の勇婦於兼》
天保2-3年頃
(C.1831-32)
横大判、多色木版
※前期のみの展示

『古今著聞集』などに伝えられる、怪力で知られた近江国の遊女・お兼が、暴れ馬の手綱を踏んで鎮めたという逸話を描く。国芳が西洋の銅版画から取り入れた背景の描写や陰影表現が、画面に不思議な均衡をもたらしている。

本展のみどころ

1. 約100年間の日本絵画の流れを一挙にご紹介!

国芳と、その画系を軸に、江戸末期から昭和初期まで、総勢約50名の絵師、画家による約250点(内、国芳54点、芳年28点、清方18点)をたっぷりご堪能いただける、またとない機会です。

2. 浅草寺から! 国芳の巨大絵馬が登場。

浅草寺の絵馬堂に奉納されている、横3.7m、縦2.2mの巨大な絵馬がお目見えします。めったに門外に出ない本作を、ぜひお見逃しなく。

3. 横浜ならではの展示も!

横浜浮世絵や、油彩による洋風の表現に挑んだ横浜ゆかりの五姓田派が登場。また、全4章を通して約70点の横浜美術館所蔵品も出品されます。

4. 企画展100本目!

1989年の開館以来、記念すべき100本目の企画展となる本展。さまざまな展覧会関連イベントを実施するほか、企画展100本目を記念するお得な情報も併せてご注目ください。HP等で随時お知らせします。



歌川国芳(一勇斎)《勇国芳桐対模様》 嘉永元年頃(C.1848)、大判三枚続、多色木版 ※前期のみの展示

山王祭の列に加わった国芳一門。先頭(左端)で派手な衣装の背中を見せているのが国芳自身とされ、その後、自らの名前が記された扇子を持った弟子たちがいなせな姿で続く。傘や大団扇、弟子たちの浴衣の柄には、「芳」の字を桐の形にかたどった国芳一門の画印が描かれる。国芳は、侠気のある親分肌で多くの弟子に慕われたと言われ、三囲神社(東京都墨田区)に現存する、国芳の十三回忌に建立された顕彰碑には、70名を超える弟子や孫弟子の名が並ぶ。



月岡芳年(大蘇)《風俗三十二相 いたさう 寛政年間 女郎の風俗》
明治21年(1888)、大判、多色木版、横浜美術館蔵[山村行輝氏寄贈]

章の構成と主な出品作家

第1章 歌川国芳と幕末明治の絵師たち

(歌川国芳、歌川芳虎、歌川^{よしつや}芳艶、歌川^{よしふじ}芳藤、落合芳幾ほか)

第2章 歌川国芳と近代日本画の系譜

(河鍋^{ひれざき}暁斎、月岡^{えいほう}芳年、水野年方、鏑木清方、^{ひれざき}鱈崎英朋ほか)

第3章 歌川国芳と洋風表現：五姓田芳柳とその一派

(五姓田^{ごせ}芳柳、五姓田^{だよしまつ}義松、渡辺^{わたなべ}幽香ほか)

第4章 郷土会の画家たちと新版画運動

(鏑木清方、寺島紫明、伊東深水、川瀬巴水、笠松紫浪ほか)

関連イベント

1. 記念レクチャー

- ①「絵描きたちの職人魂—国芳から芳年、暁斎、清方へ」
講師：山下裕二氏（美術史家、明治学院大学教授）
11月18日（日）
- ②「僕はこう見る—ヨコオ流 絵の見方」
講師：横尾忠則氏（美術家）
きき手：当館学芸員
12月22日（土）
- 時間：14:00～15:30（開場 13:30）
会場：横浜美術館レクチャーホール
（定員 240名、先着順、聴講無料）

2. 学芸員によるギャラリートーク

- ①11月30日（金）②12月14日（金）
時間：15:00～15:30
※申込不要、当日有効の観覧券が必要です。

3. 夜の美術館でアートクルーズ

- ①12月8日（土）②12月19日（水）
時間：19:00～20:45
定員：各回30名 参加費：4,000円（観覧券含む）
※要事前申込み・抽選（締切 11月9日必着）

4. お話と摺りの実演

- 「大正期に花開いた新たな浮世絵『新版画』」
講師：渡邊章一郎氏、渡辺英次氏（株）渡邊木版美術画舗
日時：1月6日（日） 13:30～16:30
対象・定員：満12歳以上、40名
参加費：2,000円（観覧券含む）
※要事前申込み・抽選（締切 12月8日必着）

5. 親子で鑑賞「浮世絵、摺師の技をみよう」

- 講師：林勇介氏（株）渡邊木版美術画舗
日時：11月23日（金・祝） 10:00～12:00
対象・定員：小学校3～6年生の子どもと保護者、20組（1組4名まで）
参加費：親子2名で料金1,000円（1名追加500円）
※要事前申込み・抽選（締切 11月9日消印有効）

6. つくって!みて!親子でたのしむ展覧会

- 日時：12月9日（日）①10:15～12:15 ②14:00～16:00
対象・定員：小学校1～6年生の子どもと保護者、各回10組
参加費：無料
※要事前申込み・抽選（締切 11月16日必着）

※3、4、6の申込方法

当館HP：本展イベントページの「申込みフォーム」から、または、往復はがきにてお申し込みください。

※5の申込方法

往復はがきにてお申し込みください。

【往復はがき送付方法】

往信面に、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢（小学生は学年も）、電話番号、希望講座名（3と6は①か②を選択）を、返信面に返送先を明記のうえ、横浜美術館内「はじまりは国芳展 イベント担当」宛（〒220-0012横浜市西区みなとみらい3-4-1）にお送りください。



歌川国芳（一勇斎）《宮本武蔵の鯨退治》弘化4年頃（C.1847）、大判三枚続、多色木版
※後期のみの展示

お得な情報

○11月3日は無料!

横浜美術館の開館日と、企画展100本目到達を記念して、当日に限り展覧会を**無料公開**します。

○おとな&子どもの鑑賞優待

中学生以下の子どもと保護者の方が一緒に来館すると、子どもは無料、保護者の方は半額に!「鑑賞シート」もご用意しています。
優待日：12月8日（土）、9日（日）、15日（土）、16日（日）、22日（土）、23日（日）、24日（月・祝）

○国芳・芳年・清方を巡る入館料相互割引プラン!

本展チケットを、以下の2つの美術館でご提示いただくと、各展覧会を特別価格でご覧いただけます。
また下記いずれかのチケットのご提示で、「はじまりは国芳」展を200円割引でご覧いただけます。
（1枚につき1名様、各展覧会1回限り有効）

太田記念美術館「没後120年記念 月岡芳年」

（前）2012年10月2日～10月28日（後）11月1日～11月25日 休館日：10月8日を除く月曜日、10月9日（火） ※観覧料 各種200円引

鎌倉市鏑木清方記念美術館「清方描く 江戸の残り香」

2012年11月3日～12月9日 休館日：月曜日、11月6日（火） ※観覧料 各種50円引

○和装で割引!

お着物でご来館のお客様は当日観覧料金より100円割引でご入場いただけます!



歌川国芳(一勇齋)《一ツ家》

安政2年(1855)、228.2×372.0cm、顔料・板・額、金龍山浅草寺蔵

国芳は安政2年、吉原の妓楼・岡本楼の依頼を受けて、浅草寺に奉納するため、浅茅が原の一ツ家の鬼女伝説に取材したこの巨大な絵馬を描いた。迫真の描写が当時大きな話題となり、翌年にはこの絵馬をもとにした「生人形」の見世物興業が浅草奥山で行われ、人気を博した。

観覧料

一般	1,200 (1,100) 円
大高生	800 (700) 円
中学生	400(300) 円 ※小学生以下無料

※()内は前売ならびに有料20名以上の団体料金(要事前予約)。

※毎週土曜日は、高校生以下無料(要生徒手帳、学生証)。

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料。

※その他割引料金については別途、お問合せください。

※観覧日当日に限り、横浜美術館コレクション展もご覧いただけます。

※チケットは横浜美術館(前売はミュージアムショップ)、セブンイレブン店内のマルチコピー機「セブンチケット」(セブンコード:018-826)にてお買い求めいただけます。

※前売は、11月2日(金)まで



歌川芳虎

《呉服屋清七

五代目尾上菊五郎 俳名梅幸》

明治2年(1869)

大判、多色木版、横浜美術館蔵

[小島豊氏寄贈(小島烏水旧蔵)]



川瀬巴水

《木場の夕暮(「東京十二題」より)》

大正9年(1920)、

36.9×24.2cm、多色木版、

横浜美術館蔵



錦木清方《春のななくさ》

大正7年頃(C.1918)、

139.0×48.0cm、絹本着色、

横浜美術館蔵

粥を炊くために春の七草を提げて歩く御高祖頭巾の女性。国芳、芳年、年方と続く浮世絵の画系を継いだ清方は、失われゆく江戸の情緒や明治の風物を愛惜の想いを込めて描いた。

基本情報

はじまりは国芳 -江戸スピリットのゆくえ

The Spirit of KUNIYOSHI - From Ukiyoe to Japanese Modern Paintings

2012年11月3日(土・祝)～2013年1月14日(月・祝)

※展示替えがあります。

前期：2012年11月3日(土・祝)～12月5日(水)

後期：2012年12月7日(金)～2013年1月14日(月・祝)

休館日 木曜日、12月29日(土)～1月3日(木)

開館時間 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

会場 横浜美術館 (〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1)

お問い合わせ TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317

<http://www.yaf.or.jp/yama/>

主催：横浜美術館(横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体)、日本経済新聞社

後援：横浜市、NHK横浜放送局

協力：みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社

特別協力：鎌倉市錦木清方記念美術館、ギャラリー紅屋、東京国立近代美術館



寺島紫明《爪》

昭和5年(1930)、130.5×138.8cm、

絹本着色、大関株式会社蔵

※後期のみの展示

プレスリリースお問い合わせ

横浜美術館 広報担当(宮野、藤井) / TEL: 045-221-0319 FAX: 045-221-0317 E-mail: pr-yama@yaf.or.jp